# ジャパンエキスポ@パリ ②とち介が栃木市をPR

### **ブース**では、**伝統工芸品の展示やチラシ**などを配布して**PR**













ステージでも元気に明るくPR







#### 会場内をお散歩しながらPR







## 市長通信



#### シビックコア地区整備計画

市民の皆さん、こんにちは。

先月の九州北部での豪雨災害では、福岡・大分の両県を中心に、甚大な被害が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますと共に、被災された皆さま、関係者の皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

九州での豪雨災害において、度重なる「記録的短時間大雨情報」を経て「特別警報」へと至った状況は、2年前に本市に大きな被害をもたらした関東・東北豪雨災害を、生々しく思い起こさせるものでした。関東・東北豪雨災害の際は、全国各地から、本市に多くのあたたかいご支援をいただきました。今回の九州の豪雨災害の被害に対し、本市におきましても、先月の発生直後より義援金の受付を始めたほか、今後は被災地からの要望に応じて、

各種の支援を行ってまいります。市民の皆さんも、 被災地へのご支援を、ぜひよろしくお願いいたし ます

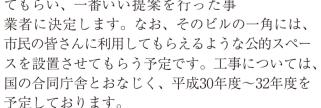
さて、今回の市長通信では、栃木駅周辺にて 整備を進めております「シビックコア地区整備計 画」についてお話しします。

シビックコア地区整備計画は、栃木駅北口周辺 地区の魅力とにぎわいの創出をめざし、官公庁 施設や民間施設などの整備を総合的かつ一体的に 実施する計画です。この計画は、市が作成し、 国土交通省関東地方整備局の同意を得たもので、 国が整備をする合同庁舎と、民間施設が基本と なる(仮称)シビックセンターの二つの建物が核と なっています。

ひとつめの核である「国の合同庁舎」は、地上 5階建てで、栃木税務署や栃木公共職業安定所 (ハローワーク)が入る予定です。今年度に設計 が完了する見込みで、工事については現在のところ、 平成30年度~32年度を予定しております。

もうひとつの核となる「(仮称)シビックセンター」は、駅前の利便性を高め、賑わいを創出するため

に、民間事業者に自らビルを建てて もらい、そこで事業を営んでいただ きます。その事業がどんなものであ り、どんなビルを建てるのかを提案し てもらい、一番いい提案を行った事



昨年、市内の高校生と私との意見交換会「高校生夢トーク」を行いましたが、参加した高校生からの「駅前に高校生が集える場所があれば」という提案が印象に残りました。高校の生徒数が県内で2番目に多いこの栃木市において、栃木駅は栃木市の「顔」であると同時に、昔も今も、市内外から通学する多くの高校生の皆さんが毎日利用する駅です。そんな栃木駅周辺が、高校生をはじめ多くの市民の皆さんの憩いの場所となるよう、今後も取り組んでいきたいと思います。皆さんのご支援・ご協力をお願いいたします。

栃木市長 鈴木俊美

